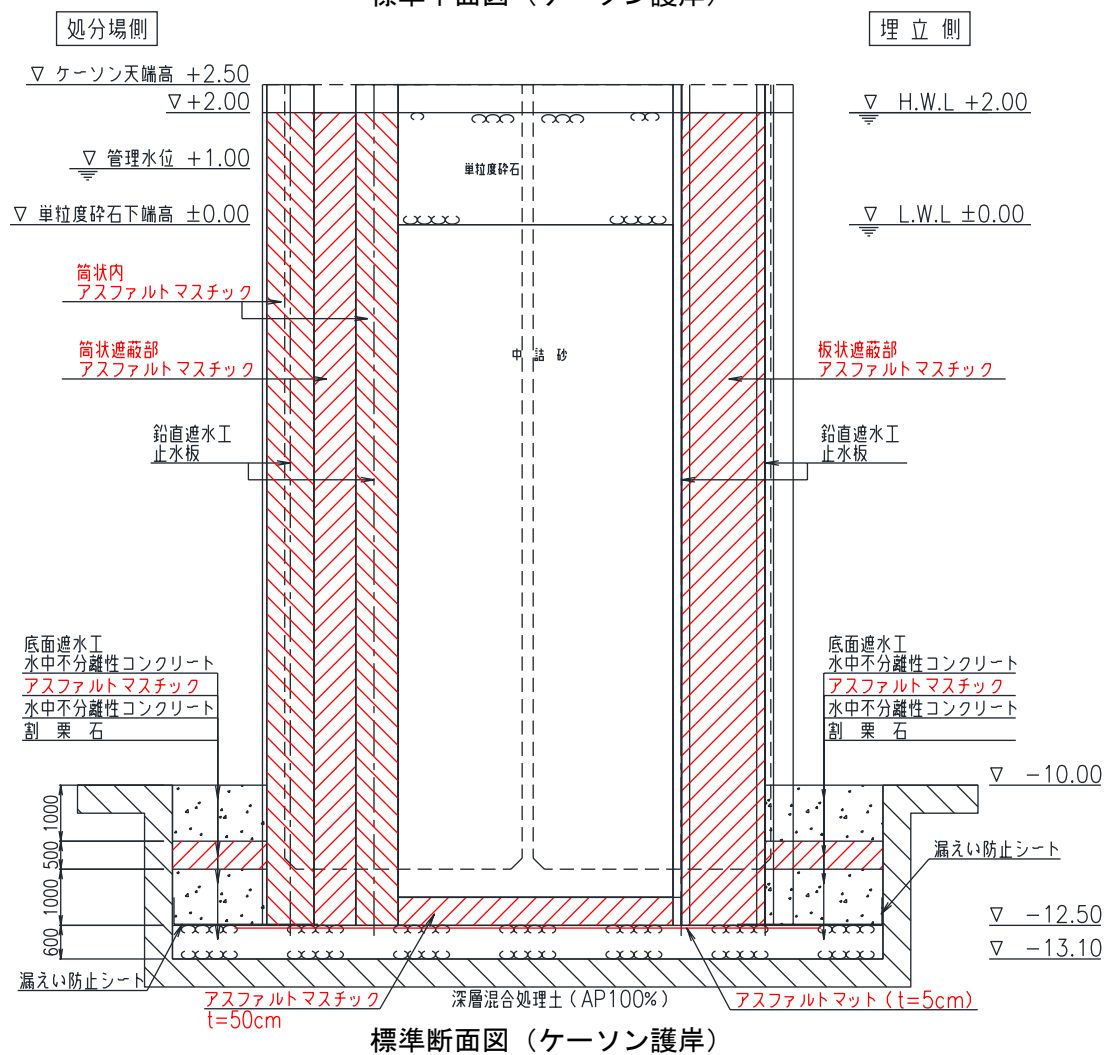
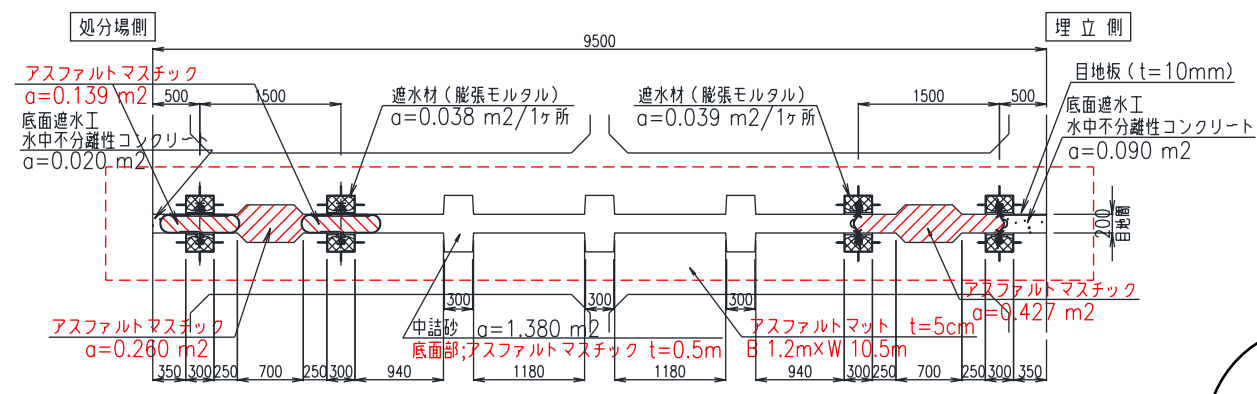


# 南本牧ふ頭第5ブロック 廃棄物最終処分場（ケーソン式護岸）



本護岸の鉛直遮水工では、ケーソン目地部の追従性能を持つ遮水材型枠として、一次遮水に円筒目地材、二次遮水に板状止水板が採用され、その目地材間にアスファルトマスチックを充填することによりケーソン目地側面に対する止水を施している。又、目地底部には充填するアスファルトマスチックの漏出防止対策としてアスファルトマットを設置しており、目地間底部の止水対策としては底部より H=50 cmのアスファルトマスチック層を構築している。底面遮水工の根固め部は、セル護岸同様のダイバーによる水中打設を実施。モニタリング孔として設置された観測孔内の施工は、高揚程水中ポンプを使用しドライ施工を実施した。



## 鉛直遮水工



アスファルトマスチック充填前目地内清掃

1日以上の間を得て目地材の膨らみを  
目視確認してから充填

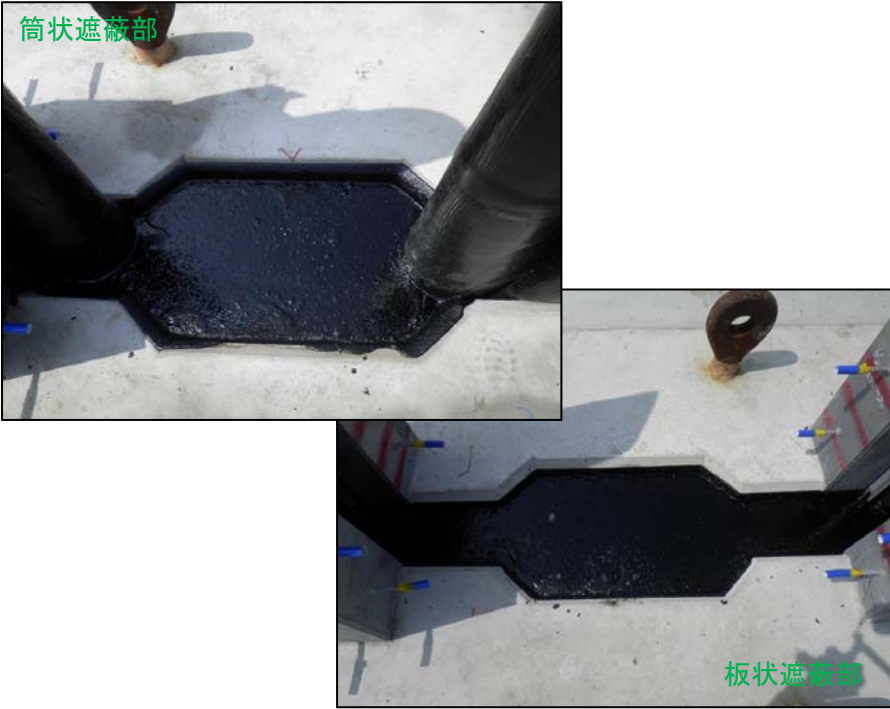


筒状遮蔽部アスファルトマスチック充填



筒状遮蔽部アスファルトマスチック充填

目地材を十分に膨らませる為、板状目地間と円筒目地内を先行して充填



アスファルトマスチック充填完了